

第48回夏季大学「ザ・竜巻」開講のお知らせ

教育と普及委員会

主催：(公社) 日本気象学会

後援 (予定)：気象庁，日本地学教育学会，(一財) 気象業務支援センター，(一社) 日本気象予報士会

日本気象学会は，最新の気象学の普及を目指して，小・中・高等学校の先生や，気象を学ばれている学生・一般の方を対象に毎年夏季大学を開催しています。

今年のテーマは「竜巻」です。近年，たてつづけに発生した竜巻により，社会的な関心が高まり，竜巻予測に対する社会の要請はたいへん高まっています。このような背景から，今回の夏季大学では「竜巻」をキーワードとして，理論・観測・数値シミュレーションにより明らかになってきた竜巻のメカニズム，竜巻がもたらす被害，減災のための防災気象情報などの幅広い内容について，専門家の皆さまから講義をしていただく企画にしました。

2014年5月

○日程，講義題目，講師

2014年8月2日(土)

09:40 開講

09:45-10:00 「講師紹介と夏季大学の概要紹介」

10:00-11:00

「竜巻の理解の現状と課題」

新野 宏 (東京大学大気海洋研究所)

11:15-12:15

「大気中に観られる多様な渦とその成因」

藤吉康志 (北海道大学低温科学研究所)

13:30-14:30

「数値シミュレーションによる竜巻の発生メカニズムに関する研究」

益子 涉 (気象研究所)

14:45-15:45

「局地的大雨等の予報精度向上にむけたデータ同化・アンサンブル手法の開発」

瀬古 弘 (気象研究所)

2014年 8月 3日 (日)

09:00-10:00

「竜巻被害とその対策：風工学の立場から」

田村幸雄 (東京工芸大学)

10:15-11:15

「竜巻等突風被害の現地調査」

中里真久 (気象庁観測部)

11:30-12:30

「竜巻・突風に関する防災気象情報の仕組みと利用」

田中恵信 (気象庁予報部)

13:30-14:30

「気象情報の利用や伝達について」

南 利幸 (気象予報士)

14:45-17:00 「気象庁見学」

*講義時間はかわる可能性があります。

○講義会場

気象庁講堂 (東京都千代田区大手町1-3-4)

会場の地図は、気象庁ウェブサイト (<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/intro/map.html>) をご覧ください。

○募集対象人数

定員80名程度

○受講料 (消費税含む)

5,000円 (学生 3,000円)

参加申込受付後、郵便口座をお知らせしますので、そちらに受講料の振込をお願いします。

【重要】受講料の振込期限を『2014年7月18日(金)』とします。期限までに受講料の支払いがなければ、受講できません。お早めに支払いをお願いします。

○講義資料

受講者の方には、事前に講義レジюмеをオンライン配布します。また、開催後に、講義まとめ録を「教育と普及委員会」ウェブサイトに掲示する予定です。同サイトには、過去の資料が公開されていますので、ご覧ください。

○参加申込方法

ウェブ・フォームによるオンライン受付を原則とさせていただきます。詳細は、「教育と普及委員会」ウェブサイト (<http://www.metsoc.or.jp/kyoiku/hukyu/index.html>) をご覧ください。インターネットへの接続環境をお持ちでない方は、下記事務局にお問い合わせください。

○参加申込開始日

2014年 6月 9日 (月)

定員になり次第、締め切らせていただきます。

○お問い合わせ先

気象庁内 日本気象学会事務局

Tel : 03-3216-4403, Fax : 03-3216-4401